

東久世通禧 ひがしきよせ 歌人、漢詩人。天保四年十一月二十一日山城國生
丸、明治四十五年一月四日歿（八三—一九三）。宇照齋、幼名保丸。號
古帆、古帆軒、大藪竹齋、源通禧、竹亭、竹亭禧、藤通禧、通等。堂
上八木家（新家）。尊皇攘夷を唱へ、文久二年國事御用掛、翌年參政と
なるも、八月の政變に同志に孫實美等と共に所謂七卿落の一人となつ
た。王政復古のうちに參與、慶應四年軍機參謀、爾後外國事務取調掛、
兵庫・横濱裁判所總督、神奈川府知事、開拓使長官等歴任。明治四年
侍從長、次ぐ岩倉具視の歐米巡遊に同行。元老院・貴族院・樞密院副
議長等をつとめた。有藏故實の通じ、詩歌又文章を能くした。

著書に『竹廬全歌集』（明治四十二年十一月二十五日兵庫・武岡豊大
刊）、『竹廬詩錄維新前後』（高瀬真劍編、明治四十四年十二月二十五
日博文館）、『渚禪詞集』『春江懷人集』（明治四十五年七月十八日喜多
直孝編輯）がある。

